

創立百周年記念式典 盛大に挙行

祝 宮城県仙台第二高等学校 創立百周年記念式典



同窓会報

第33号

発行 宮城県仙台第二高等学校
同窓会事務局
印刷 仙台市青葉区川内渡橋通一
創文印刷出版株式会社
☎二二一-五六五一(直通)
仙台市青葉区大手町六番二号



御挨拶

宮城県仙台第一高等学校同窓会会长
創立百周年記念事業実行委員会会長

堀 田 康哉

菊花の薫る十月二十四日、宮城県仙台第二高等学校の創立百周年記念式典を、宮城県民会館において盛大に挙行できましたことはこの実行委員会を立ち上げました私にとりまして、至上の喜びであり、誠に感無量で、感激で胸がいっぱいです。この日を迎えることができましたのも、これ偏に関係各位のご尽力とご支援の賜であり、皆様方の御厚情に対し心より篤くお礼を申し上げます。

生徒諸君は二十一世紀の我が国を担う大

母校仙台二高の限らない発展と生徒諸君の一層の活躍を心から期待し、併せて同窓生のみな様の活躍を心から期待し、併せて同窓生のみな様方におかれましては今後とも仙台二高へのご高誼ご高配を賜りますようお願い申し上げ、はなはだ簡単ではあります、が、ご挨拶と致します。

切な役割を持っております。この記念式典を一つの節目として、文武一道の精神のもと、私が常々話しているように、明日は立派な槍になろうと努力していられるアスナロのよくな気持ちを持ち続けて欲しいものです。



創立百周年のごあいさつ

校長渡邊義之

本校は二十世紀最後の西暦二〇〇〇年という、きわめて意義深い年に、創立百周年の記念すべき節目の年を迎えることができました。

員の皆様方の御労苦に対し衷心より敬意と謝意を表する次

第であります

この一世紀にわたる歳月の
あいだには、日本の姿も教育
のあり様も、まことに大きな
変化を示してまいりましたが、
本校もこの激動の二十世紀に

合校長の時代でありました。その後、校舎等の改築・整備が行われ、今日を迎えたのであります。

現在の太平の世に青春時代を過ごされた方々など、多種多様のドラマがあつたと窺われます。

生徒諸君は、この記念すべき橋」とすることと考えます。

このことは、私共教職員の同窓生諸兄やPTAなど関係各位の喜びのみならず、多くとも、これ偏に、同窓会並びにPTAの皆様方など関係各位の御支援・御協力の賜物であり、心から厚く御礼を申し上げます。

あつて、幾多の変遷を経てきました。我国全体が、この二十世紀最後の年に、この世紀を振り返り、この世紀のもつ意味や意義を検証し、新たなる世紀への展望を模索していく時、本校もまた、本校の果たしてきた役割を静かに振り返り、二十一世紀への架け橋として、「何をなすべきか」を考える絶好の機会を得たもの

格もあり、教育内容もそのた
びに改善が加えられましたが、
常に時代のニーズを先取りし
つつ、宮城県仙台第二高等学
校として、名実共に全国に通
じる名門校として、その地歩
を確実に固めてまいりました。
創立以来今日までに、本校
は二万四八〇〇余名の秀英を
世に送り出し、卒業生諸兄は、
我国のみならず、世界に雄飛

う大激動の時代にあっても、本校教育の求める人間像は運動であり、校旗・校章に顕示されております「正義・自由剛健・質実・平和・友愛・協同・自治」の八徳を象徴する「八光鋒」は、ゆるぐことなく仙台二高の理念であり、それは「文武一道」の精神をはじめながら、草創の時代から、本校生の崇高なる心の礎とし

小・少・協・助・の・事・件・な・よ・く・さ・れ・て・き・た・素・暗・ら・し・い・伝・統・を・受け・継・ぎ・、そ・れ・を・新・た・な・る・伝・統・づ・くり・の・土・壤・と・して・、諸・君・一・人・が・個・性・あ・ふ・れ・る・志・と・い・う・種・子・を・播・き・、新・世・紀・の・主・役・ふ・き・わ・しい・大・輪・の・花・を・咲・か・せ・る・べ・く・、互・い・に・切・磋・琢・磨・し・な・に・ご・と・に・も・全・力・を・傾・注・して・取・り・組・む・こ・と・を・願・つ・て・や・み・き・せ・ん・。

終・わ・り・に・、こ・の・百・周・年・記・念・

とりわけ、百周年を記念して、多目的に使用できます「百周年記念館」の建設や、ブレ・イベント等の開催などに、限りない母校愛のもと、文字通り心血を注いでこられました堀田康哉記念事業実行委員会会長をはじめ、実行委員会

と考えます。

し、各界・各業種における第一人者として、目を見張るような活躍をされ、素晴らしい実績をあげておりますことは、大きな喜びであり、後輩諸君の目標や誇りでもあります。この百年という星霜の間、本校で青春時代を過ごされた

て受け継がれ、現在もなお、北陵魂として脈々と人々の中に生き続けております。来るべき二十一世紀を目指して、本校の使命は「八咫錐」の光をしるしと仰ぎ、世紀という得難い伝統と実績を踏まえつつ、「至誠業に

心則元一續助にあたり、多大の御支援・御協力を賜りました多くの方々
また仙台二高をこよなく愛し、心をお寄せいただきておりま
す皆様方に心から感謝の意を表し、あいさつと致します。

を使用して創設されたのであります。その後、明治三十五年には北六番丁校舎に移転し、

多くの人々の心の中には、まさ
きにお一人お一人にとつてき
わめて貴重な「青春のドラマ」

さよ
み・雄大剛健の風を養い、ともに敬愛切磋を怠らず」の教育目標をより高く掲げ、二十二

同窓会報

記念の日を祝福するかのように、夜來の雨があがり、秋晴れとなった平成十二年十月二十四日、本校創立百周年記念式典が盛大に開催された。出席者はご来賓、PTA、同窓生、在校生あわせて千六百名を越え、会場となつた宮城県民会館を埋め尽くした。



記念講演	平朝彦氏（高17回）
演題	ヨットから深海掘削船へ — 地球の謎に挑む —

宮城県第二中学校として開校した明治三十三年（一九〇〇年）四月以来、本校は約二万五千人の卒業生を送り出したが、教育目標である「至誠」に励み、雄大剛健の風を養い、ともに敬愛切磋を怠らず。この理念を常に追い求め、多くの同窓生が社会の第一線で活躍している。

式典は、凱歌を在校生、同窓生を中心にして出席者全員で高らかに歌う中、校旗入場をもって幕を明け、渡邊校長の式辞、堀田実行委員会会长の挨拶の後、五十名を越える方々に感謝状が贈られた。また浅野史郎宮城県知事をはじめとして、千葉正美宮城県県

議会議長、藤井黎仙台市長の三人より祝辞をいただき、来賓紹介・祝電披露の後、堀田実行委員会会长より、渡邊校長に記念品目録が贈呈された。生徒代表挨拶では三嶋廣人生徒会長が伝統の継承と発展を誓い、最後に出席者全員で校歌を斉唱して、閉会した。

式典終了後は、同じ会場で平朝彦東京大学海洋研究所教授（高17回）による記念講演が行われた。平教授は本校在学中はヨット部に所属し、そのころの経験をもとに、どのようにして現在の仕事に就き、

地球の謎に挑むようになったのかを、わかりやすく、また興味深く講演して下さり、出席者に大きな感銘を与えた。本会報に講演要旨を掲載するので、ぜひとも参考にされたい。

本会報に講演要旨を掲載するので、ぜひとも参考にされたい。

記念式典次第

- | 記念式典次第 | 1 開式宣言 | 2 君が代齊唱 | 3 学校長式辞 | 4 実行委員会会长挨拶 | 5 テーマ「臥竜鳳雛・北陵健児」 | 6 祝辞 | 7 来賓紹介・祝電披露 | 8 記念品目録贈呈 | 9 生徒代表謝辞 | 10 校歌齊唱 | 11 閉式宣言 |
|--------|--------|---------|---------|-------------|------------------|------|-------------|-----------|----------|---------|---------|
|--------|--------|---------|---------|-------------|------------------|------|-------------|-----------|----------|---------|---------|



記念行事	1 / 1 ラグビー定期戦 （対仙一）	5 / 21 三部定期戦 （バスケット）（対仙一）
	4 / 22 硬式野球招待試合 （対山形東）	7 / 19 栗駒登山 （スカイラン）
	4 / 29 大運動会 （対仙一）	9 / 1 サッカー招待試合 （対ソウル中央高）
	5 / 13 軟式野球定期戦 （対仙一）	9 / 2 北陵祭
	5 / 20 三部定期戦 （バレーボール）（対仙一）	9 / 3 シンポジウム・コンサート （柔道）（対仙一）
	9 / 14	

創立百周年記念式典

力強く新世纪へ羽ばたく

講師紹介

それでは、私（校長 渡邊義之）の方から講師の先生をご紹介いたします。本日たいへん忙しい中、この百周年記念の講演をいただきます東京大学海洋研究所教授の平朝彦先生でございます。先生は、昭和二十一年に仙台でお生まれになり、昭和四十年に本校を出てござります。先生は、サス大学ダラス校地球科学部に進み、地質学古生物教室をご卒業、さらにテキサス大学ダラス校地球科学部の博士課程を修了されました。日本に戻られ、昭和五十二年から高知大学の文理学部助手、そして五十三年から理学部助教授としてお勤めになりました。その後昭和六十年から東京大学海洋研究所の教授として現在まで研究に当たられております。先生の研究される分野は海洋地質学プレートテクトニクスで、多くの業績を

挙げられております。特に、四国の四十万帯においては、日本列島形成論を書き換え、地質学に新しい分野を開拓されました。これまで、留学中にアメリカ地質学会のペントローズ研究奨励賞を受賞されたり、平成六年にアメリカ地質学会フェロー、平成八年にはフランス科学アカデミー招待教授となられ、世界的にご活躍されております。著書も「日本列島の形成」を始め、生徒諸君の中でもすでに読んでいる人もいると思いますが、岩波新書の「日本列島の誕生」やジュニア新書の「科学のすすめ」などを多数出版されています。また、写真集「日本周辺の海溝」は日刊工業新聞技術科学図書優秀賞を受賞されております。日本地質学会評議員、国際深海掘削計画理事会員、文部省学术審議員も務めになるなど、国内外においてたいへん目覚しい活躍をされております。現在は、

宮城県仙台第一高等学校創立百周年記念講演会

挙げられております。特に、太平洋の海底調査から大陸の進化、地球環境変動の歴史の研究をされていらっしゃるとのことです。本日は「ヨットか

ことです。本日は「ヨットから深海作戦へ 地球の謎に挑む」という題で、先生のご研究の一端を生徒諸君へ披露す

ることです。二十一世纪を担うわが仙台一高の生徒諸君ともども先生のご講演をお楽しみにしております。それでは先生、よろしくお願ひいたします。

東京大学海洋研究所は、二つの研究船を操作しております。一つは白鳳丸、それから淡青丸という船であります。一つは四〇〇〇t 近い船で、世界の海を羽ばたくことができる船です。もう一つは小さい船で、これは日本近海を中心に行きながら、もう一つは小さな研究は国際深海掘削計画といふものです。深海を掘削船で掘って、地球の歴史や成り立ち、海洋のしくみを調べる、そういう計画であります。このジョイデス・レギリューションという船は我々が国際的に運用している掘削研究船です。私自身はこの国際深海掘削計画の日本の代表として、いろいろな調整やお世話をしています。実際この立場にあります。実際この船には今まで三回乗船しました。

なぜこのような研究をやつ

ておられるのです。二十一世紀を担うわが仙台一高の生徒諸君ともども先生のご講演をお楽しみにしております。それでは先生、よろしくお願ひいたします。

東京大学海洋研究所は、二

ヨットから深海作戦へ — 地球の謎に挑む —

東京大学海洋研究所教授 平 朝 彦

化石少年からヨット青年へ

今、ご紹介に預かりました 東京大学海洋研究所の平です。みなさん、こんにちは。本日は仙台一高の百周年記念式典ということで、お招きに預かりました。私は仙台一高の百周年記念式典というところで、お招きに預かりましてたいへん光榮に思います。それからこの式典から事業に関わられた方々、事業をやってきたのかについて、皆さんにお話したいと思いまます。渡辺校長先生から紹介に預かったように、私は仙台市で、日本近海を中心に掘削研究を行ってきました。

今日は、私がやってきた研

究の一端を紹介するとともに、少し私の人生の歩みといいますか、そういうことも紹介しながら、今までどういうことをやってきたのかについて、皆さんにお話したいと思いまます。渡辺校長先生から紹介に預かったように、私は仙台市で、日本近海を中心に掘削研究を行ってきました。

なぜこのような研究をやつ

遡つてお話をします。この講演の準備のためにアルバムをめくつておりますたら、懐かしい写真が出てきました。私は化石少年でした。小学校五年生の時に化石を集めるのが非常に好きで、ハンマー片手に秋保の近くの茂庭に化石採集に行きました。宮城教育大学におられた松田浩一郎先生に連れて行かれまして化石採集をしました。その時先生が持っていたハンマーが欲しくて欲しくてたまりませんでした。先生のハンマーを借りて写真を撮らせていただきました。化石少年は小学校の時化石を集め続け、「子供の科学」を出したりして、かなりマニアックな生活をしておりまし



に付き合つてくれました。合宿の日程というのは、大体夏休みに一週間と決まっていますから、それ以上の合宿は無届合宿になるということで、高橋先生にはお引取りをいただいて無断で合宿を続けた記憶があります。その見返りとして、我々は高橋先生によくカレイを釣り、お酒を差し上げて接待をしたのであります。これが官寓接待の始まりかな

遡ってお話をします。この講演の準備のためにアルバムをめくっておりましたら、懐かしい写真が出てきました。私は化石少年でした。小学校五年生の時に化石を集めるのが非常に好きで、ハンマー一片手に秋保の近くの茂庭に化石採りに行きました。宮城教育大学におられた松田浩一郎先生に連れて行かれまして化石採集をしました。その時先生が持っていたハンマーが欲しくて欲しくてたまりませんでした。先生のハンマーを借りて写真を撮らしていただきました。化石少年は小学校の時化石を集め続け、「子供の科学」という雑誌に化石交換の記事を出したりして、かなりマニアックな生活をしておりました。高橋先生は非常に熱心に我々に進学しました。当時バテレンと呼んでおりました高橋先生がいらっしゃいまして、シリスタンバテレンと全く同じようでした。化学の先生で怪しい妖術を使つておりました。その高橋先生がヨット部の部長でした。ヨット部はそんなに大きい所帯ではなくて、同級生が五人、先輩が四人、後輩が数人という状態で、非常に仲のよい和気藹々とした世界でした。合宿をするのがヨット部の活動ですから、土日は松島、それから七ヶ浜といつた所へ合宿に行って帰つてくれました。夏休みはほとんど合宿で明け暮れるということでした。

スーパー深海掘削船で巨大地震の研究を

生を経てだんだん固い物質、四十帯で見たような非常に固い地層に変わつていって、それがプレートとの境界で摩擦を起こすようになります。するとそこに、ひずみのエネルギーが蓄えられます。ひずみのエネルギーは、何百年に一度解放されて巨大地震を起します。巨大地震の結果、付加体はさらに重なり合つて、だんだん陸地として隆起して

スパー深海掘削船

花淵沖でスナイプ級に乗つて同僚の高橋君とレースの練習をすることもあります。インターハイにも出ました。佐渡でしたがルール違反で失格をして結局成績は残らなかつたという淋しい思い出があります。松島の艇庫では、昔A級ディンギーという古い型の船があつたんですが、冬はヨットのベンキを全部剥がして、板と板の間にマキハタという

充填材を詰め込んで、パテで塗って全部塗り直すという業をやっていました。仙台高や電波高校などとよくもった経験があります。でもまあ仲よくやっておりました。ヨトをやっていたお陰でしり三年間通いましたが、そこ後仙台二高、川内短大を出た。東北大学の理学部に進学しました。理学部の二年間もヨトのコーチをしていました。

地震のメカニズムを知る。当たって最大の問題は、我々は地震が発生している場所の状態を知らないことです。そもそも地震が発生する断層いうものは、どういう物質できているのかということ分からぬ。そこに摩擦をは

で巨大地震の研究を
きます。陸地になつていつ
プロセスには巨大地震が関わ
っていることが分かります。一
本列島に住むものにとっては
地震のしくみを知ることは常
に大切なことで、ある意味で
国の大震設計そのものにも関わ
てくることです。

らすような水や流体がどれだけの量あるかも知らない。要するに、力学モデルをつくる物質科学的な基礎が全くないのです。もう一つは、巨大地震が起こっている現場そのものをもし観測できたら、そこにひずみがどのように蓄えられていくのか、あるいは破壊はどのように起こっていくのかを直接観測することができたら、我々は地震のメカニズムに対して全く違うアプローチをることができます。あるいは全く新しい展開ができるということです。

それにはどうしたらいいか。深海掘削船はアメリカが作って、日本は分担金の一部をして使っていますが、掘削船には限界があります。海底下二km以上掘る能力を持つていません。そのためここ十年ほど、日本が主導して、我々が望む、例えば巨大地震の発生帶まで届くような穴を、深海で掘ることはできないだろうかと考えてきました。そのアイディアを国際的な場でも皆さんと話し合って、検討してもらい、ようやく日本列島の周りで地震発生帯の深い所まで直接掘れるような掘削船を

つくろうという提案がなされました。先程の地震の発生について復習すると、フィリピン海プレートが入つていて堆積物が圧縮され、だんだん固い芯になっていって、ある条件になると摩擦が最大になります。そして、地震が起ころる所は非常に限られていることも知られています。マグニチュード八以上の巨大地震は限られた範囲で起こっているのです。ですから、その場所を掘りたい訳です。

フィリピン海プレートが沈み込んでいく南海トラフで、我々がODP、オーシャン・ドリーム・プログラムという深海掘削計画によりジョイデス・レブリューション号で掘つてきた穴は実に小さい範囲です。そこで、四国の沖合に楔形に陸地が増えていくけれども、その発生する場所を掘りたい訳です。一九四六年に四国沖で震がありました。終戦直後のため、被害に関して詳しくはいろいろ議論がありますが、確定された場所に直接穴を掘

り抜くとすると、私が今までに参加した掘削の範囲よりもはるかに深い穴になります。海底の水深が約二五〇〇mから三〇〇〇m、そこから七km掘つて地震の発生している場所に到達する。一〇kmのパイプで深海を掘つていくという人類未踏の巨大技術ということになります。

これは、是非日本の手でや

りたいと私は長年思つてきました。海洋科学技術センターという科学技術庁の研究所と協力し、またいろいろな国際的深海掘削計画の委員会とも協力して、スーパー深海掘削船をつくることがついに予算化されたのであります。数ヶ月前に起工式が行われました

が、名前はまだ決まっていません。五五〇〇t、全長二〇〇mの船です。今、三井造船の玉野事業所という所で船体部分をつくる工事が始まりました。数年先には三菱重工業が、名前はまだ決まっていません。五五〇〇t、全長二〇〇mの船です。今、三井造船の玉野事業所という所で船体部分をつくる工事が始まりました。数年先には三菱重工業

が、名前はまだ決まっていません。五五〇〇t、全長二〇〇mの船です。今、三井造船の玉野事業所という所で船体部分をつくる工事が始まりました。数年先には三菱重工業

自由な発想を大事にする研究体制作り

新しい掘削船はジョイデス・レブリューション号より大きい船です。日本がアメリカより大型のものをつくることはあまりないんですが、今度の場合はアメリカのものよりもさらに大きな掘削船をつくり、前人未到の地下まで掘つていいという計画です。二〇〇二年に進水式が行われます。

二〇〇四年に完成して、二〇〇五年には習熟航海といいますか、掘削櫓を使って、船員や技術者が掘削のテクニックをちゃんと優遇し、しっかりと技術陣と一緒にになって、ソフトといいますか、研究者をちゃんと優遇し、しっかりと技術陣と一緒にになって、

インター・ナショナルに開かれた場所で自由な発想のもとに、そういう大型施設を使つていいという発想に欠けていました。今回はそうではなくて、ただきたいと思います。

さらに、巨大地震を起こす場所だけではなく、地層を掘りぬいて、地球環境の過去の歴史を調べ、それから地球環境の予測を行うというような研究、また地球内部の活動、火山やマグマなどのようにしてできるのかということも調べたい。

新しい掘削船が運用される思つてますが、そういう快適な環境のもとに、「好きな人はここで何ヵ月でも生活してよろしい。一週間に一回ぐらいシャトル船が来て、物資を補給しては帰つて行く。」そういう洋上の研究室、洋上の掘削櫓であります。これをつくつて、南海トラフあるいは関東大震災を起こした地震

人のネットワークの中

最後に、高校生活あるいはヨット部で何を学んだかとい

うと、私は決して勉強や知識を学んだのではなく、人との付き合い、人との信頼関係、人とどのようにして協力していくかということでした。それは一番大切な宝だと思っていました。このような掘削船の科学も、全てやるのは人です。一人でやれるというのは、きわめて限られている。協力してやって始めて大きな力になります。仙台二高には百年の歴史があり、その綿々と連なる人

のネットワーク、人の連繋の中にいて、この瞬間その人たちに囲まれて私がいることを私は非常に光榮に思います。それとともに、諸君も是非その人のネットワークの中で生きていきたい、あるいはその中で人類の未来を切り開いていくような仕事に携わって欲しいと思います。

今日はご清聴ありがとうございました。

創立百周年記念祝賀会盛大に開催

うと、私は決して勉強や知識を学んだのではなく、人との付き合い、人との信頼関係、人とどのようにして協力していくかということでした。それは一番大切な宝だと思っていました。このような掘削船の科学も、全てやるのは人です。一人でやれるというのは、きわめて限られている。協力してやって始めて大きな力になります。仙台二高には百年の歴史があり、その綿々と連なる人

のネットワーク、人の連繋の中にいて、この瞬間その人たちに囲まれて私がいることを私は非常に光榮に思います。それとともに、諸君も是非その人のネットワークの中で生きていきたい、あるいはその中で人類の未来を切り開いていくような仕事に携わって欲しいと思います。



Ⅱ会 次 第Ⅱ		日 時		年 の 歴 史	
平成十二年十月二十四日(火)		十七時半～十九時半		側の部屋には、「仙台二高百年の歴史」にまつわる展示がなされ、写真、ビデオ等をく	
会 場		ホテル仙台プラザ「松島」		いるように見つめる同窓生は、それぞれに青春の情熱を燃やした高校時代に思いをはせていた。	
一 開会挨拶	PTA会長 千葉 純治	二 挨拶	校長 渡邊 義之	三 祝辭	県知事 浅野 史郎
在原窓会代表	藤井 黎	仙台市長	柿崎 征英	仙台市議議長	岡 征男
元仙台高校長	山川 民夫	東北大総長	阿部 博之	東北大総長	西澤 潤一
高橋 清久	高橋 清久	高橋 清久	高橋 清久	高橋 清久	高橋 清久
五 乾杯	同窓会副会長 藤原佐一郎	スピーチ	藤原佐一郎	脊量立大学長	元仙台高校長
六 祝宴	元仙台高校長	高橋 清久	高橋 清久	高橋 清久	高橋 清久

会次第

会場
ホテル仙台プラザ「松島」

◎ 藤井仙台市長

祝賀会祝辞要旨

関西同窓会会长 木川田一郎
閉会挨拶

未来に吹き抜けることを期待いたしまして、お祝いの言葉をいたします。

大きな声で歌う姿に改めて感動しました。時代が大きく変化する中で、仙台二高はその変化をいち早く察知し、新たな試みをすすめておられます。二高のますますの発展を期待してお祝いの言葉いたします。

◎**岡仙台市議会議長**

母校仙台二高が百年を迎えたこと、みなさんと共に心から喜びあいたいと思います。百周年にちなみ今取り組んでいることがあります。今日も来ていますが、四宮という社会派の映画監督がいます。今度「神の子たち」という映画を作ることになっていました。

二高にはこういう人材もいるんだということを世間に広めたいと思っております。今日は大変おめでとうございます。

◎**阿部東北大學総長**

おばんでござります。昭和二十七年から三年お世話になりました。仙台二高にとって仙台一高の存在が大きかったと思います。仙台二高、仙台一高という両雄が競い合っているというのが、仙台という街の個性ではないかと思います。仙台二高がこれまで以上に輝かしい魅力と個性を持つていくことに、出席の先輩方



はまさに全力で応援して下さると思います。これまでご努力頂いた校長先生はじめ、教職員のみなさんに改めて感謝申し上げ、挨拶とさせていただきます。

◎山川在京同窓会代表

旧制一中以来約二十年間をこの仙台で過ごしました。私が育った頃の仙台とすこり様変わりしたことに驚かされました。聞くところによりますと、昭和二十五年、春日さんという大先輩が中心となつて、第一回の在京同窓会が開かれたそうです。その後二回ほど開かれ、長いブランクの後、ホテルオークラ

本校卒業生の西澤潤一岩手県立大学長、阿部博之東北大学総長、佐藤一郎東京芸術大教授、浅野史郎宮城県知事の四人。司会もまた本校卒業生の佐藤隆輔元NHKアナウンサー。在校生を中心とした約千二百人の聴衆を前に、個性を重視

本校創立百周年記念のブレ
イベントとして、「二十一世
紀の日本 若者に贈るメッセー

創立百周年記念シンポジウム開催

21世紀の日本

訴えた。

社会の実現を強く

西澤潤一氏にしづわじゅんいち
一九二六・九・一二生ま
(中44回生)

大正十五年仙台市生まれ。
東北大工学部電気工学科卒。
半導体研究所長などを経て、
成二一八年東北大大学長。十七
から岩手県立大学長。日本
子力産業会議会長。東北大
營教授。七十四歳。

の橋本さんのご尽力で、阿部光雄、佐藤一郎、青山史朗の諸先輩が中心となって、現在の在京同窓会が再建され、復活第一回の総会が昭和五十年に盛大に開催されました。初代会長に住友不動産の安藤社長になっていただきまして、以来、在京同窓会は活発な活動を続けて参りました。これもみな、母校愛に燃えて奉仕

する人がおればこそ、盛大
なってゆくのでございます。
また在京同窓会には北杜会
いう勉強会がございます。一
校の同窓会でこのような有
義な活動を続けているのはと
て珍しいことではないかと思
います。簡単ではございま
が、在京同窓会の歴史と活
の一端をご紹介申し上げ、心
機にかえさせていただきます。

阿部 博之 氏 あべ ひろゆき
一九三六・一〇・九生まれ
昭和十一年東京都生まれ。
東北大工学部機械工学科卒。
昭和五十二年工学部教授、平
成五年工学部長、八年東北大
学長。九月の学長選で再選さ
れた。学術審議会委員。日本
学術会議会員。六十四歳。

佐藤 隆輔 氏 さとう りゅうすけ
一九三四・八・一二生まれ
(高5回生)

昭和三十三年アナウンサーとしてNHK入社、地方局勤務の後、東京、大阪、名古屋などでスポーツ実況中継、スポーツ情報番組を担当。

実況中継では野球、ラグビー、バレーボール、バスケット、フィールドホッケーなど、多くのスポーツで実況を担当。また、NHKラジオ第1放送で「アスレチック」のナレーションも務めた。

昭和二十三年仙台市生まれ。東京大法学部卒。厚生省に入り児童家庭局障害福祉課長などを歴任。平成五年の宮城県知事選に初出馬し当選。九年に再選された。五十一歳。

昭和二十一年古川市生まれ。東京芸術大大学院（油画専攻）修了。昭和四十八年、旧西ド・イツ・ハンブルク美術大学留学。東京芸大美術学部講師、助教授を経て、平成十一年教授。五十四歳。

平成六年八月定年。現在、N
HKラジオのニュース、BS
米大リーグの実況等を担当。
東京・ミュンヘンオリンピック、
バンコク・ニューデリーリレー
アジア大会中継担当。

体験豊かな日本人若者に贈るメッセージとして、音楽の後はシンポジウムで楽しみ下さいといつておられる。しかし、その前に、もう一つの音楽を聴いてもらいたいと思います。それは、共鳴するところと反対していくべきだといふことです。楽しんでくださいといつておられるが、考えていただきたいところです。

います。

今日は、世界を代表する有名な先生、日本を代表する知事の面々がいらっしゃいます。紹介するのに、西澤先生、阿部先生とお呼びしたいところですが、同じ学び舎、仙台二中、二高で育った人間として、阿さんという呼び方で紹介していきたいと思います。

まず、西澤潤一さんでござります。岩手県立大学学長で、前の東北大学総長であることご存知の通りでございます。岩手県立大学学長ではご存知の通りでございます。半導体の世界的権威であるとともに、今IT革命ということがしきりに言われていますが、元はと言えばこの西澤潤一さんのもとに辿り着かざるを得ないのです。森総理大臣もしきりにIT革命といふことを言っておりますが、西澤さん、何か森総理からご挨拶がございましたですか。まだありませんか。当然ご挨拶があつてしかるべきだと思いますが。中学44回でございます。続きまして、東北大学総長、阿部博之さんです。昭和34年、阿部博之さんです。昭和34年、東北大学工学部機械工学科を卒業になりました。工業部長から現在東北大学の総長で、固体力学や地熱発電の権威で

あります。いろいろなご著書もございますし、表彰も受けております。高校7回でござります。

それから、東京芸術大学の油絵の教授をしていらっしゃいます佐藤一郎さんです。油絵だけではなくて、先端芸術表現科というものが茨城県の取手にできまして2年たちますけれども、その学科を大いに発展させるために送り込まれたのが佐藤一郎さんです。

油絵を描きますけれども、二高時代には応援団の副団長でございまして、大いに暴れた口でございます。コモンホールに銅版画が掲げてあります。が、みなさんからのアイディアを活かして佐藤一郎さんが手作りしたものです。高校17回でございます。

しんがりに控えておりますのが、宮城県知事、浅野史郎さんでございます。ご存知のように厚生省から、何の政党の応援もなしに宮城県の知事になりました。たいへん大胆な発言をして、地方政治というものが非常に身近なものに感じられるようになつたのは、浅野さんの方ではないかと思いま

す。天下の三大知事とか四大有名知事とか言われておりますが、そのうちのお一人でいらっしゃいます。昨日は東京

で首都移転の問題で大忙しへ来られました。天下の宮城県知事もこう並びますと一番なんがりにならざるを得ない高校18回です。

私は、昭和33年にNHKに入りました、もっぱらスポーツの放送を楽しくやって参りました。甲子園の放送で言いました。昭和37年の作新学院の優勝から平成3年、第73回夏の大坂桐蔭の優勝まで手がけて参りました。現在もNHKに関係がありまして、ラジオのニュースを読んだり、衛星放送で大リーグの中継をし

たりしております。

一つの高校でこれだけ素晴らしいメンバーが集まってシンボジウムができるというのは、全く稀有の例ではないかと思います。その中で私が司会を仰せつかつて、誠に身の引き締まる思いでございます。まず、それぞれのお立場から20世紀というのはどういう時代だったろうか、迎えるべき21世紀というのはどういうふうにあるべきか、あるいはどうなるであろうかというところをお話していただきたいと思います。

それでは、西澤さんお願ひいたします。

阿部博之氏 二十世紀は世界的な規模で、知識が知恵を上回った時代だったと言える。それが、悲惨な戦争を引き起し、その背景にもなつた。二十一世紀は、人類が生存していくための知恵を、積極的に出し合っていくことが重要になる。それがなければ地球環境問題も解決しない。

知恵の創出のためには、とりわけ中学、高校時代に、受験勉強以外にスポーツや社会奉仕にどれだけ取り組んだか、魂に触れるような経験をどれだけ積んだかが大切になるだ

す。天下の三大知事とか四大有名知事とかと言われておりますが、そのうちのお一人でいらっしゃいます。昨日は東京で首都移転の問題で大忙しへ来られました。天下の宮城県知事もこう並びますと一番なんがりにならざるを得ない高校18回です。

私は、昭和33年にNHKに入りました、もっぱらスポーツの放送を楽しくやって参りました。甲子園の放送で言いました。昭和37年の作新学院の優勝から平成3年、第73回夏の大坂桐蔭の優勝まで手がけて参りました。現在もNHKに関係がありまして、ラジオのニュースを読んだり、衛星放送で大リーグの中継をし

たりしております。

一つの高校でこれだけ素晴らしいメンバーが集まってシンボジウムができるというのは、全く稀有の例ではないかと思います。その中で私が司会を仰せつかつて、誠に身の引き締まる思いでございます。まず、それぞれのお立場から20世紀というのはどういう時代だったろうか、迎えるべき21世紀というのはどういうふうにあるべきか、あるいはどうなるであろうかというところをお話していただきたいと思います。

それでは、西澤さんお願ひいたします。

阿部博之氏 二十世紀は世界的な規模で、知識が知恵を上回った時代だったと言える。それが、悲惨な戦争を引き起し、その背景にもなつた。二十一世紀は、人類が生存していくための知恵を、積極的に出し合っていくことが重要になる。それがなければ地球環境問題も解決しない。

知恵の創出のためには、とりわけ中学、高校時代に、受験勉強以外にスポーツや社会奉仕にどれだけ取り組んだか、魂に触れるような経験をどれだけ積んだかが大切になるだ

す。天下の三大知事とか四大有名知事とかと言われておりますが、そのうちのお一人でいらっしゃいます。昨日は東京で首都移転の問題で大忙しへ来られました。天下の宮城県知事もこう並びますと一番なんがりにならざるを得ない高校18回です。

私は、昭和33年にNHKに入りました、もっぱらスポーツの放送を楽しくやって参りました。甲子園の放送で言いました。昭和37年の作新学院の優勝から平成3年、第73回夏の大坂桐蔭の優勝まで手がけて参りました。現在もNHKに関係がありまして、ラジオのニュースを読んだり、衛星放送で大リーグの中継をし

たりしております。

一つの高校でこれだけ素晴らしいメンバーが集まってシンボジウムができるというのは、全く稀有の例ではないかと思います。その中で私が司会を仰せつかつて、誠に身の引き締まる思いでございます。まず、それぞれのお立場から20世紀というのはどういう時代だったろうか、迎えるべき21世紀というのはどういうふうにあるべきか、あるいはどうなるであろうかというところをお話していただきたいと思います。

それでは、西澤さんお願ひいたします。

阿部博之氏 二十世紀は世界的な規模で、知識が知恵を上回った時代だったと言える。それが、悲惨な戦争を引き起し、その背景にもなつた。二十一世紀は、人類が生存していくための知恵を、積極的に出し合っていくことが重要になる。それがなければ地球環境問題も解決しない。

知恵の創出のためには、とりわけ中学、高校時代に、受験勉強以外にスポーツや社会奉仕にどれだけ取り組んだか、魂に触れるような経験をどれだけ積んだかが大切になるだ

す。

野原に立ったとき、五十年後の日本が今日のレベルまで発展すると予想した人は、恐らく一人もいなかつただろう。

その点で、大変な偉業を達成したと言つていい。

ただ、個々の日本が理想的な生き方を実現したかというと、残念ながらそうではない。物質的な豊かさの陰で、日本の先行きについて悲観論すら出ている。自分たちの個性に基づいた文化を見直し、再確認することが必要だ。

ただ、個々の日本が理想的な生き方を実現したかというと、残念ながらそうではない。物質的な豊かさの陰で、日本の先行きについて悲観論すら

したと言つていい。

でした。

佐藤氏



感性磨き時代を開拓

二十世紀というものは、スマディアによる「方向のコミュニケーション」が主流の時代だった。これに対し二十一世紀は、一対一による双方向のコミュニケーションがどんどん行われる。個人がそれぞれ感性を磨いて、新しいコミュニケーションの時代を切り開いてほしい。

浅野史郎氏 われわれ団塊の世代は、子供のころからずっとしりをたたかれてはしまった。競争社会に身を置き、「教育は選別、差別するもの」「日本の発展のために有意な人材を育てるのが教育だ」と、だれも信じて疑わなかった。

われわれにも「頑張れば国も豊かになるし、個人も幸せになれる」との夢があった。

親の世代より豊かになるんだ

◆◆◆◆◆
阿部氏 二十世紀は画一と
イデオロギーが人間の美学に優先した時代でもあった。画

◆◆◆◆◆
佐藤（隆）氏 教育の見直しが急務と思うが。

◆◆◆◆◆
西澤氏 I.T.（情報技術）が人間社会に悪用されると大変なマイナスを起こすので、人間性を尊重しながら技術を使つて新しい社会が必要になってくる。他人に対する思

◆◆◆◆◆
佐藤（隆）氏 二十一世紀は人間性がより重視される時代とも言われるが。

浅野氏 二十世紀型豊かさとは大量消費、大量生産、大量廃棄だった。言い換れば効率、スピード、流行、画一の追求。象徴的に体現しているのが東京であり、東京は全世界の共通の目標になってきた。二十世紀にそんな考え方はずやめにしなくてはならない。

佐藤（隆）氏 二十一世紀の豊かさは人生観が変わつて、その子供たちを、社会にとって有意な存在にすることが教育の務めなのか。そうではなくて、子供たちが持つている能力を最大限に引き出すのが教育なんじゃないか、と思うようになつた。ゆとりや安心、個性を追い求めるのがこれからの教育だ。



画への追求やめよう

浅野氏 多くの重症心身障害児と出会つて人生観が変わつた。この子供たちを、社会にとって有意な存在にすることが教育の務めなのか。そうではなくて、子供たちが持つている能力を最大限に引き出すのが教育なんじゃないか、と思うようになつた。ゆとりや安心、個性を追い求めるのがこれからの教育だ。

佐藤（隆）氏 その価値観を見直す時期に差し掛かっているということか。

浅野氏 多くの重症心身障害児と出会つて人生観が変わつた。この子供たちを、社会にとって有意な存在にすることが教育の務めなのか。そうではなくて、子供たちが持つている能力を最大限に引き出すのが教育なんじゃないか、と思うようになつた。ゆとりや安心、個性を追い求めるのがこれからの教育だ。

佐藤（隆）氏 その価値観を見直す時期に差し掛かっているということか。そうではなくて、子供たちが持つている能力を最大限に引き出すのが教育なんじゃないか、と思うようになつた。ゆとりや安心、個性を追い求めるのがこれからの教育だ。

西澤氏 旧制仙台一中在学時に当時の知事が来校して、「未見のわれを発見せよ」との表題で講演していった。「だれにでも他人に負けない一面がある。だが、本人はなかなか気付かない。若いうちに努力をした者だけが、自分の隠れた特性を発見できる」の内容だった。

わたしはつぶれそうになるといつもこの話を思い出し、何度も乗り切ってきた。「あなたにも、他人と比較にならないほど素晴らしいところがある。この言葉を若者に贈りたい。

佐藤（隆）氏



日本語を大切に

佐藤（隆）氏 二十世紀は人間性がより重視される時代とも言われるが。

西澤氏 米国では大学を出ていたN.P.O.（民間非営利団体）に従事し、貧しい子供たちや障害者のために働いた後、ビジネス界に入る、というルートが定着しつつある。日本でも、各自がどうすれば社会貢献できるかを真剣に考えてもらいたい。

記念コンサート

中川・佐藤・富川の各氏、華麗な演奏を披露

九月十四日、百周年記念事業の一環として、宮城県民会館を会場として、記念コンサートが開催された。ピアニストとして中川賢一氏（高39回）、指揮者として佐藤俊太郎氏（高43回）、ギ

タリストとして富川勝智氏（高43回）と、現在音楽界で活躍する三人の先輩を迎えて、会場を埋め尽くした在校生、同窓生、P.T.A.等の聴衆は、その華麗なる演奏に酔いしれた。

指揮者・演奏者 PROFILE

中川 賢一 氏

一九六八年仙台市生まれ。仙台第二高等学校卒業。桐朋学園音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業後渡米し、ベルギー王立アントワープ音楽院ハイ

ディプロマをグレートディスティンクションで卒業後スザン・リゼーションコースに学び、リゼーションコースで年間五回の定期公演を行った。年十二月帰国。仙台と東京往復し、ソロ、室内樂等で活動を行う。今年九月にオランダガウデアムス国際現代音楽コンクール第3位。パリローリヨン音楽祭、ベルギー

アルスマジカ音楽祭、イギリスハーバースフィールド音楽祭等をはじめベルギー、オランダ、イスラエル、フランスなどで演奏活動を行い、

ラマン、ハンガリーなどで

佐藤俊太郎 氏

一九七二年仙台市生まれ。一九九一年ロンドン大学

に留学し政治学を志したが、その後ロイヤル・アカデミー

でヴァイオリンを学んだ。一九九三年、室内オーケストラ

を編成し、ロンドンでベートーベン交響曲全曲演奏会を企

画し、指揮した。一九九六年四月、イギリス室内管弦楽団

(E.C.O.) 定期公演でロンドンにデビューし、その後秋の

演奏会に招かれ、二十三歳にしてE.C.O.のアソシエイト・

コンダクターに任命された。

一九九七年二月、ボストン室内管弦楽団とのアメリカ・デ

ィスティンクションコンクールノマドのメン

バーとして招聘されている。

ピアノをロバート・グローロ、ヤング・アーティスツ・オーディションを指揮した。一九九七年八月にはタンブルノマドのメン

バーとして招聘されている。

ピアノをロバート・グローロ、ヤング・アーティスツ・オーディションを指揮した。一九九七年八月にはタンブルノマドのメン

バーとして招聘されている。

ピアノをロバート・グローロ、ヤング・アーティスツ・オーディションを指揮した。一九九七年八月にはタンブルノマドのメン

バーとして招聘されている。

ピアノをロバート・グローロ、ヤング・アーティスツ・オーディションを指揮した。一九九七年八月にはタンブルノマドのメン

バーとして招聘されている。

ピアノをロバート・グローロ、ヤング・アーティスツ・オーディションを指揮した。一九九七年八月にはタンブルノマドのメン

バーとして招聘されている。

ピアノをロバート・グローロ、ヤング・アーティスツ・オーディションを指揮した。一九九七年八月にはタンブルノマドのメン

富川 勝智 氏

一九七二年、北海道札幌市に生まれる。十二才の頃より

クラシックギターを佐藤佳樹氏に師事。宮城県仙台第二高

等学校卒業後、上智大学外国語学部スペイン語学科に入

学しスペイン美術史を神

吉敬三教授のもとで専攻

する。卒論のタイトルは

「ホアキン・ロドリーゴ

によるネオ・カステイシ

スモ」。大学在学中、ク

ラシックギターを手塚健

旨氏に学ぶ。第十九回G・

L・C学生ギターコンクー

ル大学生の部優勝、M.I

D.Iフェアに於いて行

われた第一回サウンド・

クリエイト・ジョウスト



ルディエンとマーラー「大地の歌」（室内楽版）を協演し絶賛された。今までに、ロンドン・フィル、フィルハーモニア管、ヘルシンキ・フィル、フィンランド放響、タピオラ・シンフォニエッタ、ラハティ・コンセルトヘボウ管弦楽団、京響、大阪フィル、札響、日フィル、読響等と協演。現在フィンランド・クオピオ市立管弦楽団首席客演指揮者。幸治氏にも師事。九八年よりバルセロナに移り、ルティエール音楽院にてアレックス・ガロベー氏のマスターコースを受講。九八年、ラルジャウ音楽コンクール独奏楽器部門入賞。九九年第一回バルセロナ青年音楽祭コンクールギターディレクター優勝。第四十五回九州ギターディレクター音楽コンクール次席入賞。九九年冬、三年半のスペイン留学を終え帰国。東京を拠点に演奏、教授活動中。

◆プログラム

終わりのないブラジル

ミニマリストを打ち倒せ！

ピアノ 中川 賢一

二 ロドリーゴ
アランフェス協奏曲
ギター 富川 勝智

指揮 佐藤俊太郎
仙台フィルハーモニー管弦楽団

三 シベリウス

交響曲第二番ニ長調 作品43
指揮 佐藤俊太郎
仙台フィルハーモニー管弦楽団

創立百周年記念事業報告

一百周年記念館の建設

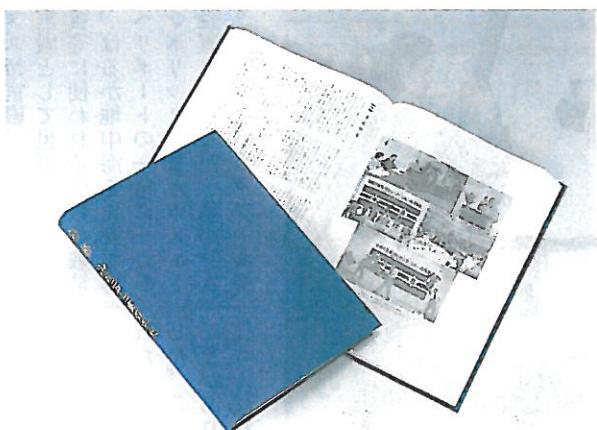
創立百周年記念事業の最大の目玉として、在校生や同窓生が利用できる合宿所兼研修施設「仙台二高創立百周年記念館」(仮称)がいよいよ建設される。十一月九日に起工式を行い、来年六月下旬の完成を目指す。

この記念館は学校敷地の南校地で、現在テニスコートがある体育館南隣に建てられる。建物は鉄筋コンクリートの一部二階建てで、建築面積は約九百三十平方メートル。中庭を挟んで二棟の宿泊室はそれぞれ四十八人、計九十六人が宿泊できる。通常は学習机などが置かれ、一室六十四人、計百二十八人の自習が可能。それぞれの宿泊室に隣接してトレイ、シャワールーム、洗濯コーナーなども設置される。

建物の中央は、各種集会やミニコンサートに利用できる多目的ホールと会議室など。ホールは最大三百二十人が収容できる。

生徒らはこれまで「北陵会館」を合宿などで利用してきたが、建築後四十二年がたち、

この記念館は学校敷地の南校地で、現在テニスコートがある体育館南隣に建てられる。建物は鉄筋コンクリートの一部二階建てで、建築面積は約九百三十平方メートル。中庭を挟んで二棟の宿泊室はそれぞれ四十八人、計九十六人が宿泊できる。通常は学習机などが置かれ、一室六十四人、計百二十八人の自習が可能。それぞれの宿泊室に隣接してトレイ、シャワールーム、洗濯コーナーなども設置される。



平成十二年度編集委員長 委員 員	和賀久佳
奥山春雄・福田誠・ 遠藤吉夫・早坂佳明・ 杉内宏行・朴澤俊一・ 谷藤正樹・後藤順一	
歴代編集委員長 穂積達郎（委員長） 本間利裕（委員） 日下毅（委員） 白鳥栄喜（委員）	
坂井孝次郎（委員長）	

③会員消息の情報入手手段 の確立	④コンピューター活用によ るシステム化
会組織の最重要事項である ②住所不明会員を可能な限 り減らす	⑤名簿情報のサービスシス 템の検討

ページのなかのせんせい 中47回 仁科 博之 殿	大戦秘史リーツェンの桜 高17回 鶴澤 貢次 殿	同窓委員長 高橋正道（高3回）
西澤潤一 詩集いのち 高9回 渋谷 寿 殿	ダ・ヴィンチの黄金のピラミッド 高18回 首藤 尚文 殿	同窓委員 星 卓次（高2回）
高4回 飯野 敏 殿	高45回 木幡有作の父上より 河北美術展半世紀の歩み 高6回 阿部 邦利 殿	校内委員 奥山春雄（高14回）
百年の逸材 百年のいぶき 高6回 阿部 邦利 殿	聖書 高6回 阿部 邦利 殿	名簿編集委員会
大塚甲山遺稿集第一巻 高6回 和田 瑞穂 殿	平成十二年秋叙勲 黙四等瑞宝章 伊達宗行 川瀬基治郎 中45回	（既実施）
高6回 阿部 邦利 殿	平成十二年秋叙勲 黙四等瑞宝章 伊達宗行 川瀬基治郎 中45回	（既実施）

高4回 佐藤 裕 殿	大戦秘史リーツェンの桜 高17回 鶴澤 貢次 殿	六 蔵王遭難供養塔の再建 （既実施）
百年の逸材 百年のいぶき 高6回 阿部 邦利 殿	ダ・ヴィンチの黄金のピラミッド 高18回 首藤 尚文 殿	五 桜の植樹 （既実施）
大塚甲山遺稿集第一巻 高6回 和田 瑞穂 殿	高45回 木幡有作の父上より 河北美術展半世紀の歩み 高6回 阿部 邦利 殿	四 特別教室の冷房設備 （既実施）
高6回 阿部 邦利 殿	聖書 高6回 阿部 邦利 殿	（創立百周年名簿編集委員会）
阿部邦利作品集1955～1995 高6回 阿部 邦利 殿	平成十二年秋叙勲 黙四等瑞宝章 伊達宗行 川瀬基治郎 中45回	同窓会事務局 022(221)5651 E・FAX同じ

佐々木正一 高9回	高4回 佐藤 裕 殿	森俊之（高31回） 和賀久佳（高32回）
黄綬褒章 高6回 阿部 邦利 殿	紫綬褒章 高7回 加藤 栄一 高6回	
紫綬褒章 高6回 阿部 邦利 殿	藍綬褒章 中47回 伊達 宗行 中45回 川瀬基治郎 中45回	
高6回 阿部 邦利 殿	黙二等瑞宝章 伊達 宗行 川瀬基治郎 中45回	
高6回 阿部 邦利 殿	黙四等瑞宝章 伊達 宗行 川瀬基治郎 中45回	

三 同窓会名簿発刊について	百周年記念同窓会名簿は、 平成九年七月から約三年間に わたり、校内及び同窓会から の七名構成の名簿委員会によ り作業をすすめ、A四判、 四二一ページ、二万六千名の 名簿の発刊を見ることができ ました。
---------------	---

四二一ページ、二万六千名の 名簿の発刊を見ることができ ました。	今回の名簿には会員個人番号が付記されており、番号明示によって迅速な検索が可能になっています。個人番号付与が必須条件となっています。最後に、名簿の不明一覧の開示により、名簿の精度に回期により相当な格差があることが判明したので、各回期との共通課題として対策を考えていかなければなりません。なお不況下にもかかって、その後の名簿管理については、情報にもとづいて日常的に修正を行い、会員へのサービスに対応いたします。
	今回の名簿管理については、情報にもとづいて日常的に修正を行い、会員へのサービスに対応いたします。

度の向上を計る事ができました。それでもなお住所不明者が多く、今後の情報提供に期待をするところです。	今後の名簿管理については、情報にもとづいて日常的に修正を行い、会員へのサービスに対応いたします。
	今後の名簿管理については、情報にもとづいて日常的に修正を行い、会員へのサービスに対応いたします。

わらず快く広告協賛に応じて頂いた各位に感謝と御礼を申し上げます。	わらず快く広告協賛に応じて頂いた各位に感謝と御礼を申し上げます。
で、各回期との共通課題として対策を考えていかなければなりません。なお不況下にもかかって、各回期との共通課題として対策を考えていかなければなりません。	で、各回期との共通課題として対策を考えていかなければなりません。なお不況下にもかかって、各回期との共通課題として対策を考えていかなければなりません。
（創立百周年名簿編集委員会）	（創立百周年名簿編集委員会）
（創立百周年名簿編集委員会）	（創立百周年名簿編集委員会）

（創立百周年名簿編集委員会）	（創立百周年名簿編集委員会）
----------------	----------------

特別企画

2000年7月25日・ローマの出来事

本年七月、イタリアで活躍中の同窓の武藤順九氏（高20回）の作品「風の環」が抽象彫刻としては初めて、ローマ法王庁に献納の栄誉に輝いた。これを記念して、仙台市から台座に仙台城の石垣の石が寄贈され、献納のミサには仙台市民150名の平成遣欧使節団が参加した。武藤氏から会報に寄せられた感動の一文を紹介する。

ローマの中心からアッピア街道を南西へ30km、山頂にカルデラ湖であるアルバーノ湖を有し全ローマと地中海を臨む古代ローマ皇帝ドミニシリアヌス帝宮殿。今はローマ法王宮殿として世界のVIPの迎賓等に使われる広大な敷地内、はるか地中海を見渡す専用ヘリポートの一角に一つのシンボリックなモニュメントが設置されました。私がPAX2000というタイトルで

世界平和をテーマに世界巡回展を始めたのは三年前。世界の彫刻の街ピエトラサンタで大賞を受賞した際の記念展に遡ります。その意義をバチカン教皇庁に認められ、この2000年という世界の節目に大作「風の環」が平和の祈りと共にこの地に永久設置されたのが去る七月二十五日でした。この間二つの喜ばしいことがありました。一つは古代ローマからの宮殿の歴史上

初の抽象彫刻となつたこと。もう一つは私の故郷仙台のもつ歴史的偉業、慶長使節団の碑が井上ひさし氏の文により台座に刻まれ、作品と共にこの地ローマに永久に残ること

です。全ての出来事が細切れとなり忘れ去っていく今日、250年間沈黙を保っていた支倉常長の偉業が多くの人々の思いで、この度この地に保存されるという事は、私達の

子孫まで人間のロマンを伝えいく事に他ならないと思います。



永久設置作品名 「風の環」 -PAX2000-

1997 イタリア白大理石

h 213 × w 165 × s 55cm

2000年7月25日 カステルガンドルフォローマ法王宮殿内

ヘリポートに設置

(ローマ法王はじめ世界のVIPが発着する表玄関)

II特別企画 II

百周年に思う

戦時中の二中と40回生應援団

中40回卒 佐久間博信

の蔵王山遭難、昭和三年十一
二中百年史で大正九年十月

月の川内新校舎移転、そして昭和十年より終戦の二十年迄の戦時中の学校と生徒、この三件は後世に伝える最たるものと私は思う。

戦時中の在校生は36回より少佐)は神風特別攻撃隊の隊

38回卒、細田吉夫君(死後46回迄であり、以前の期を含め多くの二中健兒が、内外の戦場で斃れ、再び山紫水明の母校を見ることが無かつた。昭和十三年迄の記録では、軍隊に召集された在校教師七名、戦死は三名で、十四年以降は多いのか記録が無い。

38回卒、細田吉夫君(死後

長として昭和二十年一月、ルソン島沖で敵艦に体当たり戦死している。これについて学校、同窓会、そして生徒達は知つて居るだらうか。

私達の在校時は運動部、應援団などは四年生が主力担当で、五年は受験専念であつた。

40回生は四年になるや、巽二郎君を団長に、海老根君を副団長として、水泳・相撲部等の部員を中心応援団を作り、対一中野球戦などに残り少い青春を発散させた。彼等は五年になるや、陸海軍の諸学校を受験したのである。

昭和十四年十一月初、合格通知あり三週間後に入校となつた。当時、戦争は長期化し、生徒は勤労動員の名で生産協力学校は十數日で陸海軍に入代を過させる為、殘留自習を指示し、遠隔地に親が居る生徒には帰省を奨めた。海兵に合格した前應援団長の異は、残留した生徒を集め同級生が勤労に勵んで居る時、我等も母校の為に汗を流そう、と語りかけた。

結果として校舎から運動場

に下る坂が、雨水で荒れて一年生あたりが難儀して居るので、補修をすることになった。

巽と吉田敏彦君等が道具を揃え、砂利や石は広瀬川原から運び、セメントも何処から

都合して工事を行つた。途中で數名が古煉瓦を運ん

で来て、学校の小使さんと共に中庭の花壇の整理をした。

工事は勤労動員中に終らず、彼等は放課後も残業して、なんとか仕上げたのである。

この間、再び母校に戻るかどうか判らぬ思いから、それ記念に何物かを埋込んだと言われる。

彼等は陸士、海兵等を卒業祖国の危機を守るべく、苛烈な戦場に相次いで赴いた。

40回は判明しているだけで十七名が戦死した。應援団の巽団長、海老根副団長、そして旗を振った吉田、菊池春吉君等は還らなかつた。

百年の今年六月、母校より運動場への坂道を下り、あの應援旗を振り、凱歌を歌つた立って居た。

二十一世紀に、もし日本存亡の危機あれば、二高健兒は勇敢と立つことを心に祈る、

その老人の眼に涙があつた。

蔵王突破百杆行軍の思い出

中43回卒 若生幸一郎

県下中学対抗の行軍、三八式歩兵銃と短剣・弾薬盒・背囊の完全武装で！勿論すべ

て徒步で仙台から蔵王山を越えて山形まで、約百秆を幕宮をしながら三日間で踏破する競技！参加校中落伍者を出さず全員が終着地山形師範学校庭に到着したのは、我が

二中と小牛田農林の二校だけ！初日の大河原小学校に着いてもう足裏全体が豆、二日目の峩々幕宮は風雨、ぐっしょり濡れた背の天幕と肩に食込む銃、三日目の刈田頂上は大暴風雨！このときの強者は、大泉壮一郎・菅野英一・小室義一・鈴木光郎・中沢信一・彭慶忠・村瀬正夫・望月強・渡邊眞と私の十名でした。

百周年に思う

高19回卒 佐藤芳博

シリア大使の天江喜七郎さん

が外務省国連局政策課長を務めておられた時、南アフリカの人種隔離政策の撤廃についてご教示をいただきました。

また、関西・南部アフリカの一人ひとりの名前は米粒の会員名簿が私の手元に一冊増えることになる。

今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼中にある訳はない。

今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼中にある訳はない。

今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

思えば遠くに来たもんだ

高21回卒 菅間進

いた。戦時中とは云え、真冬でも暖房がなくガラスの壊された窓からは雪が廊下や教室にまで吹きこむ始末。

校舎内は勿論雪の積もる校庭も裸足で歩かされ満足な食糧もない中でよくも風邪もひかず頑張れたものと思う。

あの頃に較べ現在は総てに幸せいの一語につくる。

立派な施設を十二分に活用し、有為の人物に育つて欲しい。

高22回卒 鈴木誠一

私の手元に二冊の同窓会員名簿がある。創立八十周年と

九十周年記念のものであるが、七十周年のものはさすがにない。七十周年は昭和四十五年であるので卒業した翌年でまだ大学生、まったく同窓会な

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

思えば遠くに来たもんだ

高21回卒 菅間進

いた。戦時中とは云え、真冬でも暖房がなくガラスの壊された窓からは雪が廊下や教室にまで吹きこむ始末。

校舎内は勿論雪の積もる校庭も裸足で歩かされ満足な食糧もない中でよくも風邪もひかず頑張れたものと思う。

あの頃に較べ現在は総てに幸せいの一語につくる。

立派な施設を十二分に活用し、有為の人物に育つて欲しい。

高22回卒 鈴木誠一

私の手元に二冊の同窓会員名簿がある。創立八十周年と

九十周年記念のものであるが、七十周年のものはさすがにない。七十周年は昭和四十五年であるので卒業した翌年でまだ大学生、まったく同窓会な

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

思えば遠くに来たもんだ

高21回卒 菅間進

いた。戦時中とは云え、真冬でも暖房がなくガラスの壊された窓からは雪が廊下や教室にまで吹きこむ始末。

校舎内は勿論雪の積もる校庭も裸足で歩かされ満足な食糧もない中でよくも風邪もひかず頑張れたものと思う。

あの頃に較べ現在は総てに幸せいの一語につくる。

立派な施設を十二分に活用し、有為の人物に育つて欲しい。

高22回卒 鈴木誠一

私の手元に二冊の同窓会員名簿がある。創立八十周年と

九十周年記念のものであるが、七十周年のものはさすがにない。七十周年は昭和四十五年であるので卒業した翌年でまだ大学生、まったく同窓会な

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

思えば遠くに来たもんだ

高21回卒 菅間進

いた。戦時中とは云え、真冬でも暖房がなくガラスの壊された窓からは雪が廊下や教室にまで吹きこむ始末。

校舎内は勿論雪の積もる校庭も裸足で歩かされ満足な食糧もない中でよくも風邪もひかず頑張れたものと思う。

あの頃に較べ現在は総てに幸せいの一語につくる。

立派な施設を十二分に活用し、有為の人物に育つて欲しい。

高22回卒 鈴木誠一

私の手元に二冊の同窓会員名簿がある。創立八十周年と

九十周年記念のものであるが、七十周年のものはさすがにない。七十周年は昭和四十五年であるので卒業した翌年でまだ大学生、まったく同窓会な

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

思えば遠くに来たもんだ

高21回卒 菅間進

いた。戦時中とは云え、真冬でも暖房がなくガラスの壊された窓からは雪が廊下や教室にまで吹きこむ始末。

校舎内は勿論雪の積もる校庭も裸足で歩かされ満足な食糧もない中でよくも風邪もひかず頑張れたものと思う。

あの頃に較べ現在は総てに幸せいの一語につくる。

立派な施設を十二分に活用し、有為の人物に育つて欲しい。

高22回卒 鈴木誠一

私の手元に二冊の同窓会員名簿がある。創立八十周年と

九十周年記念のものであるが、七十周年のものはさすがにない。七十周年は昭和四十五年であるので卒業した翌年でまだ大学生、まったく同窓会な

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

思えば遠くに来たもんだ

高21回卒 菅間進

いた。戦時中とは云え、真冬でも暖房がなくガラスの壊された窓からは雪が廊下や教室にまで吹きこむ始末。

校舎内は勿論雪の積もる校庭も裸足で歩かされ満足な食糧もない中でよくも風邪もひかず頑張れたものと思う。

あの頃に較べ現在は総てに幸せいの一語につくる。

立派な施設を十二分に活用し、有為の人物に育つて欲しい。

高22回卒 鈴木誠一

私の手元に二冊の同窓会員名簿がある。創立八十周年と

九十周年記念のものであるが、七十周年のものはさすがにない。七十周年は昭和四十五年であるので卒業した翌年でまだ大学生、まったく同窓会な

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

思えば遠くに来たもんだ

高21回卒 菅間進

いた。戦時中とは云え、真冬でも暖房がなくガラスの壊された窓からは雪が廊下や教室にまで吹きこむ始末。

校舎内は勿論雪の積もる校庭も裸足で歩かされ満足な食糧もない中でよくも風邪もひかず頑張れたものと思う。

あの頃に較べ現在は総てに幸せいの一語につくる。

立派な施設を十二分に活用し、有為の人物に育つて欲しい。

高22回卒 鈴木誠一

私の手元に二冊の同窓会員名簿がある。創立八十周年と

九十周年記念のものであるが、七十周年のものはさすがにない。七十周年は昭和四十五年であるので卒業した翌年でまだ大学生、まったく同窓会な

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

思えば遠くに来たもんだ

高21回卒 菅間進

いた。戦時中とは云え、真冬でも暖房がなくガラスの壊された窓からは雪が廊下や教室にまで吹きこむ始末。

校舎内は勿論雪の積もる校庭も裸足で歩かされ満足な食糧もない中でよくも風邪もひかず頑張れたものと思う。

あの頃に較べ現在は総てに幸せいの一語につくる。

立派な施設を十二分に活用し、有為の人物に育つて欲しい。

高22回卒 鈴木誠一

私の手元に二冊の同窓会員名簿がある。創立八十周年と

九十周年記念のものであるが、七十周年のものはさすがにない。七十周年は昭和四十五年であるので卒業した翌年でまだ大学生、まったく同窓会な

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

思えば遠くに来たもんだ

高21回卒 菅間進

いた。戦時中とは云え、真冬でも暖房がなくガラスの壊された窓からは雪が廊下や教室にまで吹きこむ始末。

校舎内は勿論雪の積もる校庭も裸足で歩かされ満足な食糧もない中でよくも風邪もひかず頑張れたものと思う。

あの頃に較べ現在は総てに幸せいの一語につくる。

立派な施設を十二分に活用し、有為の人物に育つて欲しい。

高22回卒 鈴木誠一

私の手元に二冊の同窓会員名簿がある。創立八十周年と

九十周年記念のものであるが、七十周年のものはさすがにない。七十周年は昭和四十五年であるので卒業した翌年でまだ大学生、まったく同窓会な

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

思えば遠くに来たもんだ

高21回卒 菅間進

いた。戦時中とは云え、真冬でも暖房がなくガラスの壊された窓からは雪が廊下や教室にまで吹きこむ始末。

校舎内は勿論雪の積もる校庭も裸足で歩かされ満足な食糧もない中でよくも風邪もひかず頑張れたものと思う。

あの頃に較べ現在は総てに幸せいの一語につくる。

立派な施設を十二分に活用し、有為の人物に育つて欲しい。

高22回卒 鈴木誠一

私の手元に二冊の同窓会員名簿がある。創立八十周年と

九十周年記念のものであるが、七十周年のものはさすがにない。七十周年は昭和四十五年であるので卒業した翌年でまだ大学生、まったく同窓会な

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

思えば遠くに来たもんだ

高21回卒 菅間進

いた。戦時中とは云え、真冬でも暖房がなくガラスの壊された窓からは雪が廊下や教室にまで吹きこむ始末。

校舎内は勿論雪の積もる校庭も裸足で歩かされ満足な食糧もない中でよくも風邪もひかず頑張れたものと思う。

あの頃に較べ現在は総てに幸せいの一語につくる。

立派な施設を十二分に活用し、有為の人物に育つて欲しい。

高22回卒 鈴木誠一

私の手元に二冊の同窓会員名簿がある。創立八十周年と

九十周年記念のものであるが、七十周年のものはさすがにない。七十周年は昭和四十五年であるので卒業した翌年でまだ大学生、まったく同窓会な

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

ど眼間にあつた。今年、百周年を迎えて同窓会員名簿が私の手元に一冊増

思えば遠くに来たもんだ

高21回卒 菅間進

いた。戦時中とは云え、真冬でも暖房がなくガラスの壊された窓からは雪が廊下や教室にまで吹きこむ始末。

校舎内は勿論雪の積もる校庭も裸足で歩かされ満足な食糧もない中でよくも風邪もひかず頑張れたものと思う。

二の字二つ並んで踏みしめた様子が、22回卒の我々と其感一致した事による。毎月二十一日は、飲み会と定め、江陽グランドホテルの最上階で、豪華な夜を満喫している。平成十二年七月現在で、六十五名のマーリングリストにより、全国ネットでリアルタイムの情報交換を行なっている。在学時に交友のなかった者同士が、下駄の会を通じて、新たに友情を育んでいる。生涯の心の友としてゲタの会を大事にしていきたい。百周年に乾杯。

仙台二高と私

高29回卒 伊藤厚志

二の字二つ並んで踏みしめた様子が、22回卒の我々と其感一致した事による。毎月二十一日は、飲み会と定め、江陽グランドホテルの最上階で、豪華な夜を満喫している。平成十二年七月現在で、六十五名のマーリングリストにより、全国ネットでリアルタイムの情報交換を行なっている。在学時に交友のなかった者同士が、下駄の会を通じて、新たに友情を育んでいる。生涯の心の友としてゲタの会を大事にしていきたい。百周年に乾杯。

旧制二中の思い出

過日、中学42回のさる同窓の方より、この年齢になると母校仙台一中のことが、これまで以上に懐かしく思い出されるとして以下のようなお手紙を事務局のほうで頂戴した。

「四月二十八日、わざわざ
教室や白雲崖の辺りまでご案
内下され、有難く厚く御礼申
し上げます。」

何とも不思議に思えてなりますと、東西に分かれて作業している二つの群れが今でもせん。実はその日を思い出し

以下に「愁い」果てなし
赤城茂利さんを訪ねる歌」、
のタイトルの連作の数首を
介する。

〔察〕とは旧制二高の明義寮のことであり、夏に陸軍の休暇の際、そこを筆者は訪れたのだが、これが筆者

しょに柔道部のコーチをして
います。後輩に望む事は、わ
ずか三年間という短い期間を
「文武」に精一杯努力精進す
る事です。それが以後の人生
の基礎を築くと言う厳然たる
事実があるからです。

憶致します。その方たちのうち、海軍入校の方たちは、おそらく殆どが戦死されたと思われます。陸軍の方は……………多くの方はご健在かと思われます。

流は筆舌に尽くし難い親し
にあふれるものがありました
一例として私事にわたって、
まいますが、私の当時の友
赤城茂利氏について想い出
れ」として赤城茂利氏のこと
を記し、更にその思い出を

- ほとほとうけませこの愁ひ
はるけくもまるりしものた
てゐましし往き逢ふ毎には
にかみし君
- 寮の窓辺を「やあ」と一
謂ひ過ぎしのみ君十七わが

憶致します。その方たちのうち、海軍入校の方たちは、おそらく殆どが戦死されたと思われます。陸軍の方は……多くの方はご健在かと思われます。

今で申しますとタイムカプセルのようなものでしょうか。時々、あれは戦後掘り起こされたのだろうかしら、或はまだ遺っているかしら、などとてもなつかしい情景として、また懐かしい記憶として思い出することがあります。当時、ご自分で埋められた方で在仙の方もいらっしゃるはずなの

流は筆舌に尽くし難い親し
にあふれるものがありました
一例として私事にわたって
まいますが、私の当時の友
赤城茂利氏について想い出
れ」として赤城茂利氏のこと
を記し、更にその思い出をさ
り詠んでおられる。

- ほとほとうけませこの愁ひ
はるけくもまるりしものを
われを友と淡き愁ひを秘み
てゐましし往き逢ふ毎には
にかみし君
- 寮の窓辺を「やあ」と一言
謂ひ過ぎしのみ君十七わが
十七の夏の夜のこと
- 十二十三人幼き春のころ
かへりませともに語らばや
花や摘みし笛をや折れる草
が里辺にたゆたふ霞ただに
かぎろふ
- ひとり老ひて辿りし野路の
丘に来ぬ佇むのみに愁ひ思
てもなし

三人目で一高の主将と引き分け、同じく一高が優勝した。新人戦、総体は個人六十kg以下で各第三位となり優秀選手として表彰を受けた。大学は現役で山形大学へ進学する事になりました。現在は高校卒業卒業の菅原武輝先生といつ

学予定者が、左右の降り口に分かれて、記念の造形を埋めました。陸軍入校予定者は星型のもの、海軍側が碇型のように記憶しております。大きさは当時の中学生の身長ぐらいででしたでしょうか、（中略）材料は赤煉瓦だったように記

の駄の中には戦没された方のお姿もきっと交じっているのでしょうかと思ひますと、胸が一杯になってしまいます。

・ 雲幾重臥します丘を訪ね候
・ けば猪苗の湖べ花吹雪散
・ 雄国山水かふ里の駒形に走
・ 霞たなびく君るます丘
・ 辺り来てみたまの丘に捧げ
・ たり白雲崖に散り敷きし草
・ 愁ひあふれ滴りて落つ神

した)の文には、私たちにどうして母校とは何か、友情とは何かについて深く考えさせられわらる契機となるものがあるのでないでしょうか。

二の字二つ並んで踏みしめた様子が、22回卒の我々と共に一致した事による。毎月二十二日は、飲み会と定め、江陽グランドホテルの最上階で、豪華な夜を満喫している。平成十二年七月現在で、六十五名のマーリングリストにより、全国ネットでリアルタイムの情報交換を行なっている。在学時に交友のなかった者同士が、下駄の会を通じて、新たに友情を育んでいる。生涯の心の友としてゲタの会を大事にしていきたい。百周年に乾杯。

「文武」に精一杯努力精進する事です。それが以後の人生の基礎を築くと言う厳然たる事実があるからです。

旧制二中の思い出

過日、中学42回のさる同窓の方より、この年齢になると母校仙台二中のことが、これまで以上に懐かしく思い出されるとして以下のようなお手紙を事務局のほうで頂戴した。

「四月二十八日、わざわざ教室や白雲崖の辺りまでご案内下され、有難く厚く御礼申し上げます。

ご案内いただきました校庭への降り口の坂のところで、丁度六十年前の情景を思い出しました。昭和十五年度の陸軍の学校と海軍の学校への入学予定者が、左右の降り口に分かれて、記念の造形を埋めました。陸軍入校予定者は星型のもの、海軍側が盤型のようになります。大きさが三年間という短い期間をしまして。後輩に望む事は、わずか三年間という短い期間をしまして。後輩に望む事は、わずか三年間という短い期間を

憶致します。その方たちのうち、海軍入校の方たちは、おそらく殆どが戦死されたと思われます。陸軍の方は…………多くの方はご健在かと思われます。

今で申しますとタイムカプセルのようなものでしょうか。時々、あれは戦後掘り起こされたのだろうかしら、或はまだ遺っているかしら、などとてもなつかしい情景として、また懐かしい記憶として思い出することがあります。当時、ご自分で埋められた方で仙の方もいらっしゃるはずなのに、話題になりませぬのが、何とも不思議に思えてなりません。実はその日を思い出しますと、東西に分かれて作業している二つの群れが今でも黒々とした中学生の群れとなつて、鮮明に土を掘っているのです。網膜の残像などというよりももつともっと鮮明な実像として動いております。その翳の中には戦没された方のお姿もきっと交じっているのでしょうかと思いますと、胸が一杯になってしまいます。」

流は筆舌に尽くし難い親しみがあふれるものがありましたが、一例として私事にわたって、まいますが、私の当時の友赤城茂利氏について想い出を記し、更にその思い出を詠んでおられる。なお赤城氏は旧制二高に入学したあと、東大文学部に進まれたが、学業半ばにしては結核に倒れられた。平成八年に筆者は赤城氏の故郷、福県の駒形に白雲崖の桜を折て持参し、墓参りをしておられる。

ほとほとうけませこの愁ひ
はるけくもまるりしものを
われを友と淡き愁ひを秘み
てゐましし往き逢ふ毎には
にかみし君

- ・寮の窓辺を「やあ」と一言
　謂ひ過ぎしのみ君十七わが
　十七の夏の夜のこと
- ・十一十二人幼き春のころ連
　かへりませともに語らばや
　花や摘みし笹をや折れる左
　が里辺にたゆたふ霞ただに
　かぎろふ
- ・ひとり老ひて辿りし野路の
　丘に来ぬ佇むのみに愁ひ思
　てもなし

(注)「寮の窓辺を」の歌の歌詞
「寮」とは旧制二高の明善寮のことであり、夏に陸軍軍校の休暇の際、そこを筆者は訪れたのだが、これが筆考と赤城氏との最後の出会いとなつた。

以上のような筆者(名前は出さないでほしいとの依頼でした)の文には、私たちにとって母校とは何か、友情とは何かについて深く考えさせられたる契機となるものがあるのでないでしょうか。

増本健氏、文化功労者に選出

二〇〇〇年度の文化功労者十六名が、去る十月二十四日、政府から発表され、その中の一人に、本校高校三回卒で、金属工学の増本健氏（電気・磁気材料研究所長、東北大名誉教授）が選ばれた。

氏は、パソコンなどOA機器の電源部品に広く使われているアモルファス金属の研究で、超急冷技術を使い、高い強靭性、高耐食性、磁気に反応しやすい軟磁性の三大特性を発見するなど、先駆的な役割を果たした。日本学術会議会員、元東北大金属材料研究所長、紫綬褒章。

顕彰式は十一月六日、東京のホテルオークラで行われた。氏のますますのご活躍を期待したい。

同期会だより

喜寿を祝う十七会を開催して

中42回卒 斎藤 健三

旧一中昭和十七年卒業の同期会を十七会と呼んでいる。

私たち、二十世紀最後の年、ミレニアムという記念すべき

年に、めでたく暮え年七十七才の喜寿に当ることから、母

の支那事変が始まり、間もなく

校の創立百周年記念と相俟つて、去る九月十四日記念行事

業三ヶ月前には、太平洋戦争

終了後、三井アーバンホテルにて十七会を開催した。

大正十三年生れの私たちは、昭和十二年入学、同十七年卒業であるが、小学校入学時に

適度なアルコールがのどを潤す

につれ、ニキビの中に顔のあつ

た二中時代にタイムスリップしてやんちゃ坊主に早変わり、ア

の開戦といいういわば戦時体制下で学校教育を受け、厳しい五年間を送った仲間達である。在学中は軍事教練という授業があり、軍から派遣された配属将校がこの任に当ったり、登校時の服装に乱れはないが、また夜間の外出禁止等々、現代の学生諸君には到底理解しえない時代であったが、反面それなりに結構楽しい学生生活的一面もあった。

さて、当日一堂に会した旧友達は、地元仙台を始め遠くは広島、関西そして関東の各地区より馳せ参じ総計二十八名。会は井ヶ田東北支部長の挨拶、南條関東支部長代理、鈴木関西支部長より近況が報告され、次いで広島から参加の中川君による乾杯で宴が始まった。

卒業以来五十八年ぶりに会う人もあってか、名前と顔が一進むにつれ“あー〇〇君だったのか!!”の声があがり、同期会致せず、当時の美少年達も嘆かせ、時間の経過のを忘れる程であった。

私たちの多くは、すでに第一線を引退しているが、まだ

或いは健康保持の秘訣を語る者等々、いろんな話題に花を咲かせ、時間の経過のを忘れる

ルコールの量を次第に増していく。なかには朋友の安否を気遣う者、二中時代をぶり返る者、あるいは健康保持の秘訣を語る者等々、いろんな話題に花を咲かせ、時間の経過のを忘れる

た。なかには朋友の安否を気遣う者、二中時代をぶり返る者、あるいは健康保持の秘訣を語る者等々、いろんな話題に花を咲かせ、時間の経過のを忘れる

た。なかには朋友の安否を気遣う者、二中時代をぶり返る者、あるいは健康保持の秘訣を語る者等々、いろんな話題に花を咲かせ、時間の経過のを忘れる

た。なかには朋友の安否を気遣う者、二中時代をぶり返る者、あるいは健康保持の秘訣を語る者等々、いろんな話題に花を咲かせ、時間の経過のを忘れる

た。なかには朋友の安否を気遣う者、二中時代をぶり返る者、あるいは健康保持の秘訣を語る者等々、いろんな話題に花を咲かせ、時間の経過のを忘れる



清流会第五十九回総会を迎えて

中41回卒 菊地 理

平成十二年四月二十九日

（土）、仙台ガーデンパレスにおいて、清流会（昭和十六年仙台二中五年二組同級生）第五

第一線で活躍してい

る者、社会奉仕活動に専念してい

る者等々さまざま

まだが、今回参

加できなかっ

た会員達の中

には、

加齢とともに体力の衰えを訴えている者がいるのが残念でならない。

宴の最後は、サッカー全国大会に出場した佐藤力君の力強い

エールで凱歌、校歌を合唱、併せて会員の多幸と母校の発展を

祈念し、天命の許す限り再会を

念じながら閉会した。

十九回総会を行いました。出席者は福島より馳せ参じた猪股夫妻をはじめ十名でした。喜寿を迎えた歳になりますと、病気がちの会員が多く出席者も少くなり淋しい限りです。年が年だけに各自の近況報告は、先ず健康状態を初めとして、第一、第三の人生を結構有意義に暮らしている様子です。

今年は母校創立百周年になりますので、数えて見ると創立以来の半分より前期に当たっています。清流会も来年は第六十回を迎えます。節目の年には一泊で総会を行っており、その日を楽しみにしております。

人の言葉を聞く耳

遺稿

旧仙台一中教諭 横澤三郎

漱石が英國から帰朝して、東大で英文学の講義をしていた当時の話である。私等の大學生時代もそうであったが、その頃の大学生には和服姿といふのが相当あった。その中の一人に左手を懐に入れたままノートをとっているのがあつた。それを見咎めた漱石は、「君、左手を出してノートをとり給え」と注意を与えた。すると近くにいた学生が、「○○君は左手がないのです。」とその学生のために証明した。それに対しても漱石は、「僕もない智慧をしばり出してこ

うとして講義をしているんだから、君もない手ぐらい出してもいいではないか。」と答えたり。そして漱石のことを聞いた東大生には、「漱石という人は実際にひどいことをいう人だ。」という評判をした者が多かったそうである。

諸君はこの話をどう聞くであらうか。私は、当時の東大生はまだ若年で考えが熟しておらず、人の言葉を聞き分ける耳を持つことである。それがれば、人の言葉の誤解によるいざこざも少なくなるだろうし、お世辞を真に受けて自分を誤ったこともなくなるであろう。さらに望ましいことは、声なき声を聞きつける心耳をすますことで相手の学生に謝罪の握手を求めた言葉なのである。そして漱石一流の洒落に依つて、コンプレックス・氣まずさを

うとした言葉なのである。望ましいのは、人の言葉を聞き分ける耳を持つことである。それがれば、人の言葉の誤解によるいざこざも少なくなるだろうし、お世辞を真に受けて自分を誤ったこともなくなるであろう。それで漱石は、「ない智慧に」依つて自分も左手のない学生の同列に降りて行き、その同列において漱石一流の洒落に依つて、その言葉を聞き分ける耳を持たなかつたと言わざるを得ない。漱石は、その学生に左手がないこ

二中で、昭和十四年七月から昭和十八年十一月まで国語の授業を担当されおられました。私は、担任の横澤先生を会長に「清流会」を作り、その会報は、先生のご寄稿を戴きました。その中で現在の我々にとって考えさせられる一文を記載させて頂きました。

(文責 菅井富)

清流会第五十九回総会

於仙台ガーデンパレス
平成十二年四月二十九日

西條 貞雄・菅井 富
武田 隆・松本 伍良

遠藤 慎治・菊地 理
小林 文隆・猪股 三郎



(略敬称)

重ねて行くことに依つて、はじめて期待出来ることがある。私は、所謂分別ざかりの年令に達した諸君に、右に述べたような耳を持つことを切に望む次第である。

雀百まで踊り忘れず——私は諸君を対象として何か書くと、何時の間にか教師根性が出て来て説教じみて来る。それは何時まで諸君を教え子と思っているからなのだろう。申し訳ない。

それでも雀百まで踊り忘れず——私は諸君を対象として何か書くと、何時の間にか教師根性が出て来て説教じみて来る。それは何時まで諸君を教え子と思っているからなのだろう。申し訳ない。

（文責 菅井富）

幸六耕心農場太平記

高6回卒 清野英一

四十にして大いに惑い、五十にしてても全然天命を知らず、六十才の還暦には夫婦打ち揃って八ヶ岳登山に出掛けた。幸六は始末のわが幸六会のモサ連だが、ある日ある時の幸六会の席上『いやあ、オレダズもそろそろ自然に親しみスズガヌ人生を組み立てる必要があんがえんかや!』などと極めて常識的な発言をするメンバーが現れた。

まあ、考えてみると、我々の人生たるや小学校（当時は国民学校）四年生にて終戦となり腹へった記憶しかない小

学校生活から一部授業の惨憺たる新制中学生生活を経て、仙台二高は朝鮮戦争の次の年昭和二十六年の入学と忙しい時間の日々の中に終始したものだ。

学校を終了し社会人になればなつたで、社会の高度成長の真っ只中ではないか。企業戦士の中核として一心不乱に世界を駆け回り、『過ぎにし夢はなにかせん』と白髪頭や禿げ頭をしげしげと眺めるとき『嗚呼、なんたるこ

とか惨たるちーや』世の中リストラの真っ盛りとは成り果てていた。

ガツンと落ち込みつつ『うん、言われずとも、ちょっと人生的スタンス組み替えてみる必要あつかもしやねねや』然し、この幸六有志、一世風靡した、どこかの中の懲りない人々とそつくりさん。よく言えば懲りない処が取り柄。折よく同席した元経済連参事の提案による『野村レクリエーション農園』を借用に及び自然に親しみ心を耕し、あわよくば篤農家になろうと野心を燃やす相談を纏めるに時間はあまり必要ないのであった。

『心を耕し豊かにしよう』キャッチフレーズはこれ。いざ鎌倉と馳せ参じたのはまず十五名。

夫唱婦隨か婦唱夫隨なのかはどんと知らぬが、とにかく夫婦連れ中心に集まつたメン

バーは医者あり画家あり工学者、元銀行家、コンビニ・オーナーやら生コン・プランテ経

とか惨たるちーや』世の中リストラの真っ盛りとは成り果てていた。

『天の神よ、ツの神よ!』と何やら怪しげなる祝詞を唱え始めたのが平成十一年三月中旬日曜日。一同神妙に天神地祇に家族の健康と豊作を祈つて事始めとなつたのだ。

前年、蔵王の遭難供養法要に取材に来た記者に『畑作り

やつから遊びながら見にございや』と言つたら当日まじめに来たもんだから皆で勝手なことをへラへラ喋つたら河北新報にデッカク掲載されてしまつた。

かくなるうえはなんとしても立派に農作物を収穫しないでは男の面目成り立たなくなつてしまつた。

慣れないへっぴり腰で畠を起こし種や苗を植え付ける。

コーチがまた素晴らしい。全六会員。これでよいものが出来なければ余程百姓の素質がないよ。隣のペッピリ腰がよつて来て『世の中、一番頼りになるのは友達だよな』などと不斷聞き馴れないことを言う

から不思議に思えば、なんの事はない『ちつと、手をかさ

れ、最初の収穫。『ジャガイモ、ほうれんそう etc.』おそ

ておその土を起こし根っこを引つ張り、その先にある、まーるく太つたものを発見

『アレーッ、芋なつてる!』この人自分の作ったものを信じられないのだ。『いよ、俺んとこのもなつてつとーつー』

土をこね、苗を植えて肥料をやれば当然作物は出来てくるのであるが、二十世紀の文明に毒された文化人にはとても信じ難い出来事であるのだつた。

年甲斐もなく、この現象に興奮し有頂天になり今度は自分の作物と人のものを見比べ、孫連れはお孫様を畑に連れ込み収穫に余念がない。

収穫物の品評会は、どうやら作物の善し悪しと從来の職業は相関関係があると出た。

銀行家はちゃんと作付け時点（貸し付け段階と理解されたい）で収穫（元利合計）の見通しまで計算づくしてしまつてあります。百姓やつ習慣があるらしい。百姓やつても優秀だと結果である。

なあ、同窓会の諸兄には、是非農場の見学をお薦めいたしましたご案内申し上げるもの

です。

現地は泉区野村、仙台商業高校の西、野村小学校から七北田の上谷刈に抜ける道を南下すると農場の看板がありま

す。地下鉄泉中央駅徒步十五分。キジの鳴く環境絶佳。休日は誰かが耕作していると思

います。

そして、良かつたら土いじりの仲間に入ってみませんか。

當者になんと遙々東京在住の上場企業役員は不在小作人まで多彩。

『晴耕雨讀』の譬えがあるた後の一杯のうまいこと。そして、数ヶ月の時間が流れ、最初の収穫。『ジャガイモ、ほうれんそう etc.』おそ

が、この人達は『晴耕雨讀』が晴耕雨讀（呑）』となつて幸か不幸か地主の経済連元参事馬場ちゃん宅はすぐ側だ。緊急避難がお天氣祭りに緊急変更。車で来たからと深夜まで馬場宅で酔いざましく帰る剛の者まで出る始末。

十月の収穫祭は東京組も全員参加で芋煮会。加藤議員さし入れの大羽サンマの塩焼きに舌鼓を打ち交歎の一時を過ごしたのです。

二〇〇〇年を望む望年会も

『共にいそしみ、いざ、いざ怠らず』二十一世紀は前年の経験を踏まえ一層の精進をと

三月二十六日平成十二年の農場開きを行つたのであります。

なお、同窓会の諸兄には、是非農場の見学をお薦めいた

しましたご案内申し上げるもの

です。

現地は泉区野村、仙台商業

高校の西、野村小学校から七

北田の上谷刈に抜ける道を南

下すると農場の看板がありま

す。地下鉄泉中央駅徒步十五

分。キジの鳴く環境絶佳。休

日は誰かが耕作していると思

います。

俄にかき曇り、ぱらぱらと夕

部活動の成果

学芸部成績(平成12年3月まで)

部名	成績	部名	成績
美術部	第50回仙台市内高校美術展(宮城県美術館) 7点出品 3年 田中 肇平 「夢」 優秀賞 2年 佐藤 寛 「face to face」 優秀賞 仙台二高美術部展覧会(宮城県民会館)の実施 第52回宮城県高校美術展(宮城県美術館) 6点出品	吹奏楽部	宮城県管・打楽器ソロコンテスト 小幡 晴 金賞 全日本吹奏楽コンクール予選 仙台地区大会 銀賞 Bクラス アンサンブルコンテスト宮城県大会 木管四重奏 銀賞 クラリネット四重奏 銀賞
写真部	第6回宮城県高等学校写真展 2年 鈴木 健太 佳作 みやぎ高校画報編集	囲碁部	第23回 全国高等学校囲碁選手権大会宮城県大会 団体3位 第17回 宮城県高等学校囲碁新人大会 B組 1位 碇崎 洋
物理部	「北陵祭参加……研究発表「ホログラフィー」「レールガン」「パソコンによるプログラミング」等 ②第52回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (仙台市旭ヶ丘市民センター) <幾度構他7名> 「レールガンにおける磁石の変化と飛距離の関係」 ③「ひらめキッズまつり」(電気記念日の行事) 3月12日(日) (仙台国際センター)(10名)	将棋爱好者会	第35回全国高等学校将棋選手権予選大会(99.5.14~15) 団体戦 Bチーム(森 太郎・佐藤充崇・小久保主人)優勝 個人戦 A組 白川高太郎 第3位 竜王戦 A組 小久保圭人 準優勝 第35回全国高等学校将棋選手権(99.7.31~8.1) 団体戦出場
吹奏楽部	第8回管・打楽器ソロコンテスト東北大会 3年 小幡 晴 金賞 3年 相澤 慶 金賞 3年 佐々木 駿 金賞	書道爱好者会	第48回 宮城県高校書道展 推薦 千田 光平

運動部成績

大会名 部名	平成11年度		平成12年度		大会名 部名	平成11年度		平成12年度	
	新入大会	定期戦	総合体育大会	定期戦		新入大会	定期戦	総合体育大会	
陸上競技部	110MH 土屋 1位 400M 小坂 4位	-	110MH 土屋 1位 インターハイ出場 400M 小坂 6位 東北大会出場		水泳部	競泳 200Mバタ 普音 7位 800MR 8位	-	200Mバタ 柴田 6位 水球 2位	
硬式野球部	秋季 県大会(ベスト8) 仙台二 7-6 古川工 6-5 石巻工 仙台二 0-7 東北	勝	春季県大会 仙台二 1-5 仙台育英 (1回戦) 選手権宮城大会(ベスト8) 仙台二 7-4 石巻西 仙台二 11-0 多賀城 仙台二 9-7 仙台 仙台二 1-3 東北 (準々決勝)		ヨット部	荒天のため中止	-	FJ級デュエット 6位	
軟式野球部	1回戦 仙台二 12-0 女川 2回戦 仙台二 4-1 石巻 3回戦 仙台二 6-4 東北 準決勝 仙台二 1-9 仙台商	負	1回戦 仙台二 2-4 石巻商		空手部		-		
バレーボール部	2回戦 仙台二 2-1 岩ヶ崎 3回戦 仙台二 0-2 仙台育英	負	1回戦 仙台二 2-0 女川 2回戦 仙台二 2-0 泉 3回戦 仙台二 0-2 東北		山岳部		-		
バスケットボール部	2回戦 仙台二 95-49 角田 3回戦 仙台二 67-64 桑田 準々決勝 対向山 出敗	勝	2回戦 仙台二 54-43 仙台一 3回戦 仙台二 76-62 石巻 準々決勝 対向山 61-104 東北学院		フェンシング部		-		
サッカー部	2回戦 仙台二 5-2 古川商 準々決勝 仙台二 1-1 石巻工 PK 5-3 準決勝 仙台二 0-6 東北	-	2回戦 仙台二 2-0 古川 準々決勝 仙台二 0-1 仙台育英		剣道部	団体 予選リーグ 仙台二 5-0 宮城工 仙台二 3-2 館山 団体 決勝トーナメント 1回戦 仙台二 4-1 石巻工 2回戦 仙台二 1-4 石巻商 個人 鈴木 ベスト8	-	団体 予選リーグ 仙台二 3-2 築館 仙台二 1-3 利府 個人 青木 3回戦 鈴木 2回戦	
ラグビー部	1回戦 仙台二 7-44 宮城高等	負	2回戦 仙台二 5-10 仙台三		スキ部	スラローム 3名 ジャイアントスラローム 3名出場	-		
ソフトボール部	2回戦 仙台二 19-12 向山 3回戦 仙台二 9-26 仙台育英	-	1回戦 仙台二 19-14 築館 2回戦 仙台二 15-19 古川商		柔道部	団体 予選 仙台二 3-2 黒川 仙台二 0-4 石巻工 (内容勝ち) 決勝トーナメント 仙台二 2-3 宮城工	勝	団体 予選 仙台二 0-3 柴田 仙台二 2-2 古川工 (内容勝ち) 決勝トーナメント 仙台二 2-3 宮城工 個人 決勝トーナメント 66Kg級 岩井 ベスト8 73Kg級 武田 1回戦 81Kg級 井上 1回戦	
卓球部	団体 1回戦 仙台二 1-3 志津川 個人 3回戦 草 2-0 (仙台工) 4回戦 草 0-2 (宮城工)	-	団体 1回戦 仙台二 3-0 南郷 2回戦 仙台二 3-2 登米 3回戦 仙台二 0-3 古川 個人 有馬 2回戦 加藤 3回戦		弓道部	団体 2回戦 仙台二 3-1 大河原商店 3回戦 仙台二 3-0 佐沼 準々決勝 仙台二 0-3 東北 個人 シングルス 佐々木 ベスト32 ダブルス 佐々木・佐藤 3回戦 安藤・長島 ベスト32 秋山・草 ベスト32	-	団体 Bチーム 準優勝 (東北大会出場) 個人 土屋 優秀賞	
バドミントン部	団体 2回戦 仙台二 3-0 登米 個人 3回戦 仙台二 1-3 泉 シングルス 佐々木 4回戦出走	-	団体 1回戦 仙台二 2-0 斎島台商 2回戦 仙台二 2-0 葵 球 準々決勝 仙台二 2-0 氷川昭 決勝 仙台二 1-2 東北学院 個人 シングルス 1回戦 佐藤拓 3位 ダブルス 佐藤・星山 優勝 (インターハイ出場)		ソフトテニス部	団体 1回戦 仙台二 2-0 仙台西 2回戦 仙台二 0-2 仙台商 3回戦 仙台二 2-0 古川工 準々決勝 仙台二 0-2 仙台育英 個人 斎島・猪股 4回戦出走 下津・音 4回戦出走	-	団体 1回戦 仙台二 2-0 米谷工 2回戦 仙台二 2-0 袁館山 3回戦 仙台二 2-0 古川工 準々決勝 仙台二 0-2 仙台育英 個人 斎島・猪股 4回戦出走 下津・音 4回戦出走	
硬式テニス部	団体 2回戦 仙台二 5-0 仙台商 3回戦 仙台二 3-2 仙台一 決勝リーグ 仙台二 3-2 大工 仙台二 2-3 東北 仙台二 3-2 東京	-	団体 1回戦 仙台二 2-0 斎島台商 2回戦 仙台二 2-0 葵 球 準々決勝 仙台二 2-0 氷川昭 決勝 仙台二 1-2 東北学院 個人 シングルス 1回戦 佐藤拓 ベスト8 ダブルス 佐藤・星山 優勝 (インターハイ出場)						

百周年記念大会

(招待試合・定期戦)

今年の定期戦は百周年記念大会として各試合とも熱戦がくり広げられました。また、硬式野球、サッカーにおいて記念招待試合も行われました。

サッカー

百周年記念招待サッカーは韓国ソウル中央高校を招待して九月一日仙台シェルコム(仙台ドーム)で午後七時から行われた。ソウル中央高校は創立九年目の進学校でサッカーの成績も今年の全国大会でベスト4に入賞した強豪。試合結果は、二高の善戦にもかかわらず0対1で惜敗。しかし部員たちにとっては貴重な国際試合の体験であった。



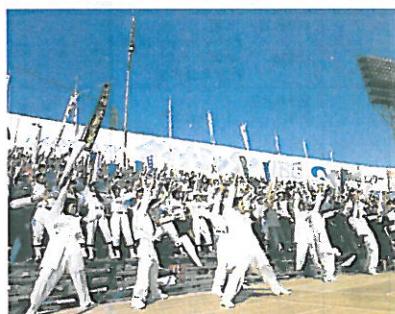
百周年記念招待試合
創立百周年を記念した大会



硬式野球定期戦

第五十五回硬式野球対一高定期戦は、五月二十六日に宮城球場で熱戦の火ぶたが切られた。前週に春季県大会が開催され、一回戦仙台育英に破れはしたもの、今年のチー

日硬式野球の試合が山形東高等学校で開催された。前日までの悪天候もあり球場状態は悪かったが関係者総出の作業により無事試合は行われた。本校先発佐藤楨が丁寧に打ち取る中で先行したが、五回表連打から四点を失い、劣勢に立たされるが、二番手石川が要所を締め、打線もこれに応え八回裏についに逆転し、記念の試合に見事勝利した。



バスケットボール(5/21)

二高 2 - 1 一高
初回、守備の乱れをつかれて先取点を奪われ、相手のペースにはまってしまった二高は、いつもの粘り強さを發揮できず、連覇はならなかつた。



バスケットボール(5/21)

前半大量リードしたが後半高が追い上げ、熱戦となつた。定期戦独特の雰囲気の中、三年の池田、宮城、田中、二年の高橋(堅)らの活躍で見事勝利し、



バレーボール(5/20)

二高 2 - 3 一高
戦前の予想では二高有利であつたが、第一エースの千明が故障で思うようなプレーができず、主将の大内を中心には健闘したが惜しくも敗れた。

柔道(5/20)
崖が先鋒戦を引き分けた後



二高 5 - 7 一高
今年は部員補強で15人制で臨んだ。前半主将大山が先制トライをきめたが、決まりらず0で折り返し、後半終了間際に一高にトライ、ゴールを許し、惜しくも涙をのんだ。



ムは地力に優れ、勢いをもつて戦いに臨んだ。
一、二戦とも本校が先行し、一高が逆転し、再び本校が逆転し勝利するという劇的な展開を繰り広げ、応援にもいつそうの熱のこもった二日間であつた。対戦成績は本校の二十五勝二十一敗八分である。

25勝25敗のタイにした。

中堅の井上が一人抜き、一人抜かれたが、絶対的安心感のある大将武田が敵の大将を破り一人残して優勝となつた。



平成12年7月22日(土) 全国15会場で「全国化学グランプリ2000」の第一次選考会(筆記試験)が行われました。全国で630名余の高校生が出場し、仙台二高生も東北大物理学部化学科の講義室で17名(3年生12名、2年生5名)が挑戦しました。

第一次選考会の結果、全国で63名が第二次選考会に進出することになり、東北地方からは3名、そのうち2名が本校の生徒でした。その2人とは、3年4組の高橋恭介君と3年7組の浅井洋一郎君です。

第二次選考会は8月19日

(土) 13:00から東京大学教養学部で開催されました。2時間30分にわたる実験・レポートに取り組み、自分の持っている知識と知恵と技術を競い合い、その結果、浅井君が金賞、高橋君が銅賞を獲得しました。3年連続で全国大会に出場している学校は数校しかなく、仙台二高の生徒の能力的な高さを証明した感があります。特に金賞は全国で10位以内という素晴らしいものです。(一昨年も受賞しているが)これを良き伝統として、今後も全国大会で活躍してもらいたいものです。

全国高校化学グランプリ 2000報告

一 仙台二高 3年連続全国大会出場

大学名 (学部)	12年3月 現役 人	浪 合 計	11年3月 現役 人	浪 合 計	12年3月 現役 人	浪 合 計	11年3月 現役 人	浪 合 計
中立入学生	12	23	35	4	22	26	0	0
東帝京大	0	0	0	0	1	1	0	1
東京医療科	0	0	0	0	0	0	1	1
東京音楽院	0	3	3	1	0	0	0	1
東京工芸大	0	0	0	0	0	0	1	1
東京電機大	0	1	1	0	0	0	1	1
東京農業科	1	9	10	0	6	6	0	6
東京理	0	3	3	0	2	2	0	2
東邦大	8	29	37	5	21	26	0	4
東洋大	0	3	3	0	3	3	0	3
日本大	3	8	11	0	13	13	0	0
日本獣医畜政	0	1	1	0	0	0	0	0
武蔵工大	3	10	13	6	22	28	1	1
明治大	3	23	26	0	13	13	0	1
明治学院	0	5	5	0	1	1	5	5
和光大	1	0	1	0	0	0	0	0
早稲田大	12	29	41	7	24	31	0	0
神奈川大	0	6	6	0	5	5	0	5
聖マリアンナ医科大	0	0	0	0	1	1	0	0
桐蔭横濱大	0	1	1	0	0	0	0	0
金沢医大	0	1	1	0	0	0	0	0
金沢大	0	0	0	0	0	0	1	1
帝京大	0	0	0	0	0	0	1	1
山梨学院	0	0	0	1	0	1	0	1
浜松大	0	0	0	1	0	1	0	1
南山大	0	1	1	0	1	1	0	1
京都産業大	0	1	1	0	0	0	0	0
京都文教大	0	0	0	0	0	0	1	1
同志社大	2	10	12	5	11	16	0	0
立命館大	4	11	15	5	24	29	0	0
龍谷大	0	0	0	1	0	1	0	1
関西大	0	0	0	0	0	0	1	1
関西学院	0	1	1	0	0	0	1	1
私立大	99	256	355	78	305	383	0	0

准 大					
防衛医大	0	0	0	0	0
気象大	1	0	1	2	0
防衛大	2	6	8	3	6
海上保安大	1	0	1	0	0
準大	4	6	10	5	3

全 立 人 学						
宮城県立	5	0	5	7	7	14
岩手県立	2	0	2	0	0	0
秋田県立	0	0	0	1	2	3
福島県立	1	0	1	0	0	0
福島県医	0	0	0	0	1	1
高崎経	0	1	1	1	2	3
宮城県立	5	0	5	7	7	14
秋田県立	2	0	2	0	0	0
福島県立	0	0	0	1	2	3
福島県医	0	0	0	0	1	1
高崎経	0	1	1	1	2	3
宮城県立	5	0	5	7	7	14
秋田県立	2	0	2	0	0	0
福島県立	0	0	0	1	2	3
福島県医	0	0	0	0	1	1
高崎経	0	1	1	1	2	3

